

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年7月分】

1. 実施した活動の概要・状況

7月は3人目のむつ市地域おこし協力隊である大崎隊員が加わり、より活動の幅が広がった。また、青森県教育委員会による若者育成事業の一環としてインタビュー事業も開始したり、むつ高等技術専門校訓練生の皆さんに体験館のテーブルベンチの作製をしたりしてもらうなど、むつ市在住の若者と交流する機会を多く持つことが出来た。12日には、体験館にあるグランドピアノの調律を依頼し、利用者がピアノ演奏するための環境整備を行った。

〈主な活動〉

○7月3日（日）若者育成事業ガイダンス

去年より青森県教育委員会から委託を受けている若者育成事業が今年度も開始した。去年は高校生による「We ♥ kawauchi」をテーマにした海ゴミアートなどの企画展を実施した。今年は、去年参加した高校生の「川内についてもっと深く知りたい」という声を受け、高校生によるインタビュー事業を行う。7月3日はその初回であり、川内の概略やインタビューの方法について学んでもらった。その後、体験館の近くにある憶念寺に伺い、お寺について、「川内」の由来について、またお茶の作法についてもお伺いすることが出来た。



事業内容について説明する様子



憶念寺にてお茶の作法について学ぶ高校生

○7月6日（水）むつ高等技術専門校テーブルベンチの引き渡し

むつ高等技術専門校の訓練生の皆さんに作製して頂いたテーブルベンチの引き渡しが6日に行われた。テーブルベンチはすべて青森ヒバから作られ、表面はしっかりと鉋掛けされていて子どもも安心して利用できる。設置した翌日から体験館周辺を散策がてらベンチに腰掛ける利用者も見られ、体験館を長時間利用する利用者が多くなったように思う。これから、テーブルベンチのある庭が地域住民の憩いの場として利用されるよう促していきたい。



テーブルベンチを降ろす様子



むつ高等技術専門校の皆さんとテーブルベンチ

○7月9（土）10（日）日JSPAシーカヤック検定会

体験館でのシーカヤック指導をより安全に行うため、一般社団法人日本セーフティーパドリング協会によるシーカヤック検定を受け、合格した。検定1日目はパドルスポーツの歴史、カヤックの構造、緊急時の対応法などについて筆記試験を受け、2日目には実際にシーカヤックを利用した前進・後進・旋回の実技試験を受けた。試験終了後には、より実践的な救助方法について身体を動かしながら学び、学びの多い二日間であった。検定でのフィードバックを活かして苦手を克服し、利用者により安全で楽しいパドリングを体験してもらいたい。



フォワード・バックテストの様子



スピンテストの様子

○7月24日（日）若者育成事業調べ学習

3日に引き続き、若者育成事業のためのワークショップを開き、インタビューのための事前学習を行った。参加する高校生8名全員が揃ったため、チームメイト同士の交流の時間も取り、その後インタビューに向けた事前学習を行ってもらった。インタビューテーマはそれぞれ「川内町と海」「川内町と山」「川内町と歴史」で、調べた内容の発表を行った。発表後は次回のインタビュー本番に向け、各自レコーダーのチェックや質問内容の確認などを行い、インタビューに備えた。なお、休憩時間には去年参加していた高校生に、去年から展示している海ゴミアートの修復をしてもらった。ぜひパワーアップした体験館シアタールームを多くの方に見てもらいたい。



今年度参加する高校生（8名）



調べた内容をそれぞれ模造紙にまとめる様子

○7月30日（土）BioBlitz! in むつ市川内町

むつ市役所国際交流推進員であるヘンリーさんと協力し、体験館にて国際交流イベントを実施した。前半は英語・日本語を用いて、生物多様性の現状について、川内町の自然についての講義を行い、後半ではシーカヤックなども利用して体験館周辺の生き物をBioBlitzというアプリを利用して観察した。年齢、国籍、性別を問わず参加して頂き、参加者は言語の壁を越えたコミュニケーションを楽しんでいたように思う。今後も、自身の語学力を生かせるような事業を実施していきたい。



網でつかまえたフグと記念撮影



体験館近くの海岸で生き物観察をする様子

2. 翌月の活動予定

8月は下記の活動に加え、引き続きカマイルカの骨格標本作成作業を行う。

8月12、13、28日 〈若者育成事業〉インタビュー・記事作成

8月13日 かわうち酔市

8月17日 大学生インターンシップ開始